

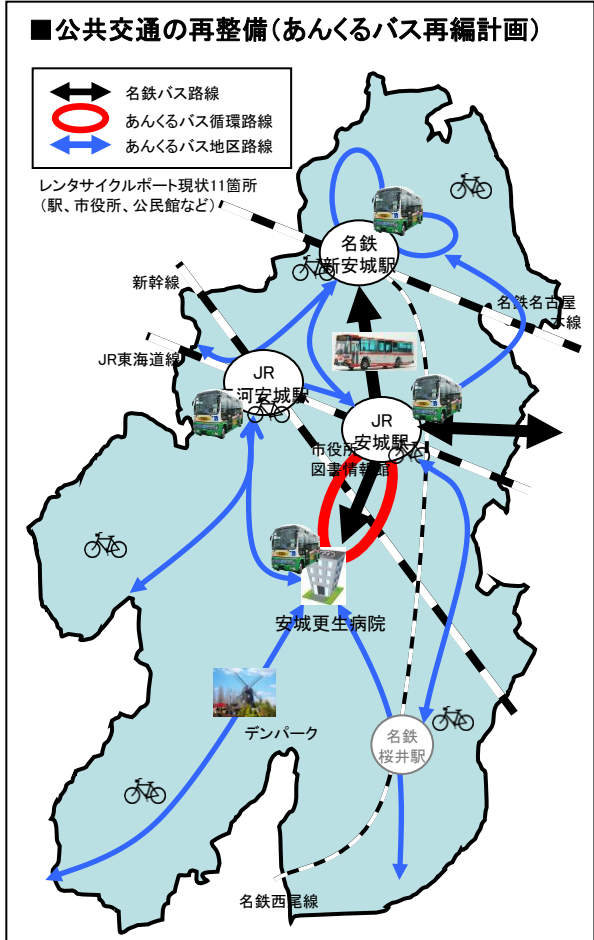
低炭素モビリティ導入によるまちの活性化と産業との共生による“安城モデル化”構想

～「市民とともに育む環境首都・安城」の実現を目指して～

代表提案者	株式会社デンソー
協同提案者	安城市、株式会社安城スタイル、豊田通商株式会社

安城市は自動車関係の工場が多数進出し、愛知県下でも有数の人口増加地域である。しかし、人口が市内に分散しており公共交通網が脆弱であるため、自家用車依存度が高く中心市街地の空洞化が顕著。低炭素化と両立した人流・まちの活性化が課題である。公共交通の再整備と低炭素モビリティ(LEV)導入による回遊力の向上と共に、地域コミュニティ側からサービスを提供して、拠点の吸引力を高める。

※超小型モビリティ:LEV(Light Electric Vehicle)



■リーディングプロジェクト①「市内交通と連携するLEVの導入とモビリティマネジメントシステムの整備」

プロジェクト
①LEVを活用したカーシェアリングの実証事業
②公共交通インフラ/自転車との連携方策の検討
③LEVカーシェアリング事業の拡大
④多様なモビリティの運行データの収集・分析

企業・団体との連携例

- 商店街共同配送(業務用シェア)
- 広告連携モデル

LEVの注目度を活かした車体への広告掲載(ラッピング、マグネット式ステッカー)

LEVステーション 広告掲載・配信(デジタルサイネージで焦点を絞った広告を発信) ※写真はイメージ

モビリティマネジメントシステム

管理 予約 返す 借りる

- 多様なモビリティ手段の運行・利用者データを統合的に収集・分析・管理
- モビリティ利用課金
- ポイント付与システム(CO2排出削減や省エネ分をモビリティ別に差別化)
- 目的地毎に利用最適なモビリティへ誘導
- 移動の定ルート
- 地域の活性化評価

■リーディングプロジェクト②「市内施設の拠点化を目指したLEVステーション設置とエネルギー・マネジメントシステムの整備」

プロジェクト
①LEVステーションの候補地選定
②検討WGの設立
③ICT基盤・システムの整備
④拠点地域へのBEMSの展開
⑤LEVによるエネルギーの相互融通検討
⑥LEVステーションからの情報配信(コミュニティサービス)

データサーバ(コンテンツ) 携帯情報端末

LEVステーション 充電スタンド(情報拠点)

- 充電スタンドが情報拠点となり、車載情報端末や携帯情報端末で各種情報サービスの利用が可能
- 無線技術と位置情報から、プッシュ型情報配信も可能
- ・市政情報
- ・観光情報
- ・特光情報
- ・電子クーポン
- ・イベント情報
- ・求職情報
- ・広告収入

市内拠点(LEVステーション)

工場 公共施設 観光施設 商業施設 駅 病院

市民が魅力を感じる拠点としての機能強化

エネルギー・マネジメントシステムの運用による市民が頼れる拠点としての機能強化

人の流れを呼び込む“吸引力”の向上

充電電機 BEMS クーポン

■LEVによる電力の相互融通

拠点施設での電力有効利用

LEVステーション 充電電機

非常時は電力供給拠点として活用

移動先での電力供給

※掲載数出典:豊田市市民生活システム策定推進協議会資料